

42. (Gno.96) 選挙権・選挙制度および国民の政治参加に関する比較法的研究

代表：橋本 基弘

2024 年度（開始）

【研究の目的】

衆議院、参議院の定数不均衡問題をはじめとして、選挙制度のあり方がさまざまに議論されている。しかし、そこには国民の政治参加や選挙権のありかたに根ざした考察が欠けているように思う。この共同研究グループでは、選挙制度と選挙権をめぐる諸問題を国民の政治参加の観点から比較憲法的に考察することにより、この問題に一石を投じたいと考えている。

【研究活動及び成果】

総括

2024年6月30日10時より第1回シンポジウムを中央大学茗荷谷キャンパスで開催した。当日会場には30人程度が出席し、Webを合わせると100人程度が参加した。当日の内容は、翌日の東京新聞に掲載され、一定の反響があった。来年度は、引き続きシンポジウムを開催したいと考えている。

学会発表

1. 日時

2024年6月29日（土）中央大学茗荷谷キャンパス 2E04号室

2. テーマ

選挙権訴訟と最高裁判所（升永英俊「人口比例選挙の要請」とどう向き合うか）

3. タイムスケジュール

10:00 ～ 10:10 開会の挨拶・趣旨説明（研究グループ代表 中央大学教授 橋本基弘）

10:10 ～ 10:30 升永英俊弁護士（TMI総合法律事務所）による第1報告（問題提起）

10:35 ～ 10:55 棟居快行教授（専修大学）による第2報告

11:00 ～ 11:10 休憩

11:10 ～ 11:30 君塚正臣教授（横浜国立大学）による第3報告

11:35 ～ 11:55 斎藤一久教授（明治大学）による第4報告

12:00 ～ 13:00 休憩（昼食、質問票記入）

13:00 ～ 13:20 海野敦史氏（前中央大学総合政策学部兼任講師）による第5報告

13:20 ～ 13:30 休憩（パネル・ディスカッション準備、質問票記入）

13:30 ～ 14:55 パネル・ディスカッション（①升永、②君塚、③棟居、④斎藤、⑤海野、司会橋本